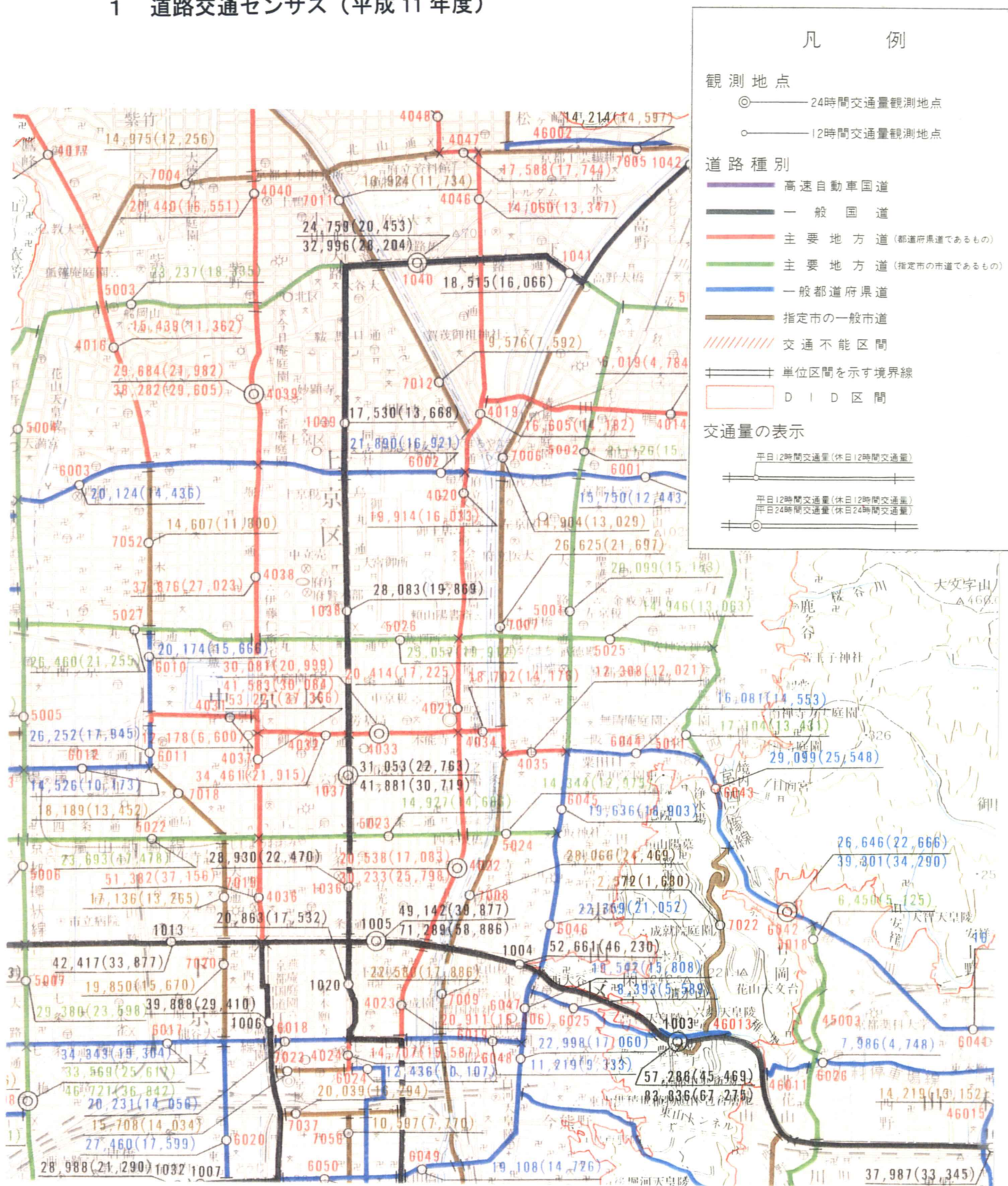


1 道路交通センサス (平成 11 年度)



2 京都市都心部における自動車交通と商活動の関係に関する実証的研究

(1) 調査主体

京都府立大学

(2) 調査日

1998年11月16日(月) 平日調査

1998年11月29日(日) 休日調査

(3) 調査時間帯

13時～16時35分 25分×8セット

(4) 調査内容

- ・ 御池通、御幸町通、四条通、烏丸通に囲まれた範囲内の細街路の歩行者交通量、自転車交通量、自動車交通量
- ・ 調査は8セットよりなっており、各セットにおいて、歩行者交通量・自転車交通量調査(5分)、自動車交通量調査(15分)、次のセットへの移動及び準備(5分)の25分の作業を繰り返しながら13時～16時35分まで実施
- ・ この結果を用いて、各街路の通過率を推計

(5) 調査結果

【自動車交通量と歩行者交通量】

(平日)

- ・ 自動車交通量では、姉小路通り、富小路通り、柳馬場通りなどの細街路での交通量が多く、傾向としては、対象範囲内の対象範囲内の北寄りもしくは東寄りが多い
- ・ 歩行者交通量では、三条通り、東洞院通りでの量が多く、傾向として調査範囲の南西寄りが多い

(休日)

- ・ 自動車交通は全体的に平日より減少するのに対し、歩行者の交通量については、減少が見られない(むしろ若干増加)

【自動車交通の通過率】

(御池～四条間の通過率)

- ・ 東洞院通りは平日、休日とも通過率が低いが、他の細街路の通過率は概ね50%程度

	東洞院	高倉	堺町	柳馬場	富小路	麩屋町	御幸町
進行方向	南	北	南	北	南	北	南
平日	23%	40%	37%	54%	61%	51%	58%
休日	20%	71%	48%	63%	71%	50%	46%

(烏丸～御幸町間の通過率)

- ・ 東西方向の細街路の方が、南北方向の細街路より通過率が高く、特に休日の姉小路、六角の通過率が高い

	姉小路	三条	六角	蛸薬師
進行方向	東	西	東	西
平日	58%	61%	61%	65%
休日	81%	61%	83%	48%

3 100円循環バスに係る交通社会実験調査業務

(1) 調査主体

京都国道事務所（社団法人 システム科学研究所）

(2) 調査日

2000年3月26日（日） 2000年6月4日（日）

(3) 調査時間帯

9時～18時（3月26日）、9時～20時（6月4日）

(4) 調査内容

- ・ 歩行者交通量・自動車交通量
- ・ 4箇所（3月26日）、8箇所（6月4日）
- ・ 併せてアンケート調査や、駐車場実態調査も実施

(5) 調査結果

100円循環バスの社会実験調査中の交通行動結果は以下に示す通り。

【交通量調査結果】

（四条通）

- ・ 自動車交通：調査時間帯で東西方向とも300～400台/時あり、渋滞状況を考えると常に交通容量を超過しているような状況
- ・ 歩行者交通量：南北側で異なり、北側が南側を上回る

（河原町通）

- ・ 自動車交通：調査時間帯で南北方向とも概ね300～600台/時
- ・ 歩行者交通量：東西側で類似しており、共に16時～17時頃までは南方向が多く、それ以降は北側が多くなる

（御池通）

- ・ 自動車交通：東西方向で若干異なり、午前中は東行きの交通量が100～300台/時ほど多い
- ・ 歩行者交通量：18時～19時の北側の西行きを除いては南北側ともに類似しており、四条通、河原町通に比べると通行量は少ない

（烏丸通）

- ・ 自動車交通：南北方向ともに類似しておりピークとなる16時～17時では800～900台/時
- ・ 歩行者交通量：16時～17時の東側の南行きを除いてはほぼ類似

【路上駐車調査】

（四条通）

- ・ 15時頃までは、高倉通り以西を中心にタクシーの駐車が目立つが、15時頃を過ぎると、徐々に乗用車の路上駐車が増加
- ・ 東行き方向の乗用車とタクシーの駐車台数は、15時以降ほぼ同じであるが、西行き方向の駐車台数はほとんどの調査時間帯で乗用車を上回る

（河原町通）

- ・ 午前中は、北行き方向の駐車台数が比較的多い
- ・ 13時～14時頃にかけては、乗用車が増加し、南行き方向にも乗用車の駐車が目立つ。14時以降は乗用車とタクシーの駐車が増加し続け、20時には三条通から南のほとんどの区間で路上駐車される

4 都心部歩行者交通量調査

(1) 調査主体

あるいてくらせるまちづくり推進協議会

(2) 調査日

2004 年 2 月 29 日 (日) 休日調査

2004 年 3 月 1 日 (月) 平日調査

(3) 調査時間帯

12 時～14 時, 15 時～17 時, 18 時～20 時 計 6 時間

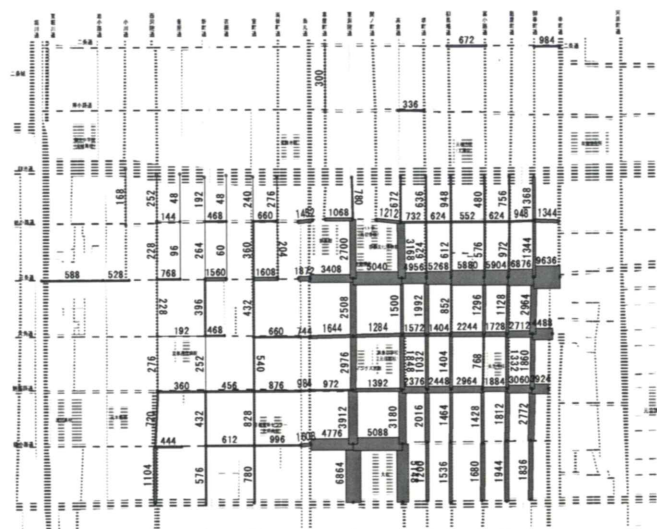
(4) 調査内容

- ・ 姉小路通, 御幸町通, 四条通, 西洞院通に囲まれた範囲内の細街路の歩行者交通量(115 箇所), 横断歩道 (5 箇所), 町屋活用店舗周辺 (7 箇所)

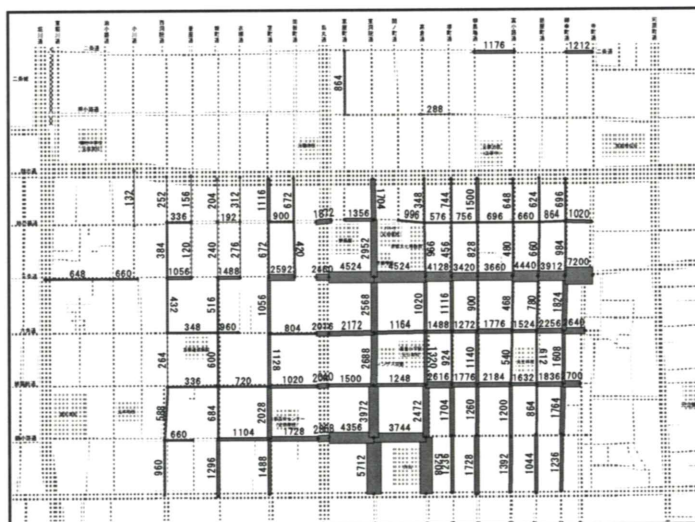
(5) 調査結果

- ・ 南北方向へ延びる細街路では, 東洞院通りや高倉通りでの歩行者交通量が平日, 休日共に多い
- ・ 東西方向へ延びる細街路では, 三条通が極めて多く, 他, 錦小路通りでの歩行者交通量が平日, 休日共に多い

【歩行者交通量：休日（観測 6 時間合計）】



【歩行者交通量：平日（観測 6 時間合計）】



5 「まちなかを歩く日」における交通実態調査

(1) 調査主体

京都国道事務所（社団法人 システム科学研究所）

(2) 調査日

2001年11月11日（日） 通常日調査

2001年11月18日（月） 実験日調査

(3) 調査時間帯

12時～17時

(4) 調査内容

- ・ 自動車交差点方向別交通量（4箇所）
- ・ 自動車断面交通量（通常日：6箇所/実験日：5箇所）
- ・ 歩行者・自転車交通量（通常日：5箇所/実験日：4箇所）
- ・ 自動車速度（5箇所）

(5) 調査結果

三条通（柳馬場通～烏丸通間）の交通実験（歩行者専用道路）により、通常日から実験日までで各交通量について以下の変化がみられた。

【自動車交通量】

- ・ 三条通（室町通～新町通）の交通量
三条通の規制により、三条通西行き直進交通が規制され交通量が減少
- ・ 蛸薬師通（烏丸通東側）の交通量
西行き交通が各時間帯とも蛸薬師通に迂回し、交通量が増加
- ・ 室町通、新町通の交通量
室町通りでは、交通量に大きな変化はみられず、新町通では、実験日の方が交通量増

【歩行者・自転車交通量】

規制区間での歩行者交通量は通常時よりも増加しており、三条通の烏丸通以西でも同様に増加した。一方で、規制区間での自転車交通量は減少した。

【自動車走行速度】

観測した全ての道路（柳馬場通、東洞院通、室町通、新町通、三条通）で、実験日が通常時に比べ平均旅行速度が減少した。

調査箇所全容

